（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	アミコ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年12月18日	～	2025年12月24日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○従業者評価実施期間	2025年12月18日	～	2025年12月24日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども園に併設されているため、こども園のこどもたちと交流でき、多角的な支援ができる。また、こども園の保育教諭とこどものことについて情報を共有できる。	インクルーシブ保育により、こども園での集団での支援ができる。	保護者、併設こども園との合同会議を持ち個々のこどものニーズの充実を図る。
2	アプリを使用し、保護者へのサービス提供記録は日々写真を添付しており、保護者にこどもの様子が伝わりやすいように発信している。	写真を活用した保護者への報告を通して、言葉だけでは伝わりにくいこどもの表情や視線、取り組む姿勢を写真とともに共有し、保護者がこどもの成長を実感できるように取り組んでいる。	今後も、こどもの小さな変化や育ちを丁寧に捉え、保護者と安心して成長を共有できる報告を心がけていきたい。
3	放課後等デイサービスとの多機能型施設により、子どもや保護者に対してスムーズに移行支援を行う事ができる。	児童発達支援と放課後等デイサービスとの交流や、合同での保護者会で、情報交換の場を設けている。	保護者の意見や要望を聞き、よりよい支援を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家庭支援プログラム（ペアレントトレーニング）や、家族が参加できる研修会などの機会を設けられていない。	保護者の個別相談や情報共有はできているが、保護者を対象とした研修などの取組が金銭・日程・時間の調整が難しくできていない。	保護者向け研修の実施に向けて、ニーズ把握を行いながら短時間形式や資料配布など負担の少ない形を取り入れられるような体制を整えていく。
2			
3			